

東京大学
情報システム本部
副本部長

玉造 潤史

東京大学職員メールシステムについて

サービス概要:

事務系職員全員を対象に継続的で一元的なメールサービスを提供する

- 職員メールアドレスの割り当て
- 一般的なメールサービスの提供(2GBプールとPOP/SMTPサービス)

サービス利用契約(外部委託契約)における問題点:

- ISPの利用契約に付いての認識
 - 利用者と契約者とプロバイダの関係
 - 個人情報の認識(個人向けサービスの延長での提供イメージ)
- サービスレベル契約(SLA)
 - 計測方法が難しい
- サービスに求めるセキュリティ管理体制
 - 開発と運用の分離
 - 報告内容の明確化

東京大学職員メールシステムにおける情報セキュリティ

1. 委託先におけるリスク対策

- 適切な情報セキュリティ対策
- 適切な運用管理体制
 - 規格化された対策基準と管理体制を要件とする
 - 委託元として要求したセキュリティ運用が行われているかを適切に報告を受け監視することが重要

2. ユーザ利用におけるリスク対策

- ユーザの過失によるセキュリティ事故(個人情報漏洩等)に対する対策
 - 国立大学協会損害保険を考慮
 - 現在の国内損害保険は基本的に国内法・国内資産に対するものである
 - クラウド時代に適応した法・制度整備が必要

3. 契約におけるリスク対策

- リスクに対応する事項を契約時に盛り込む事
 - 委託先の管理体制、報告体制、事故対応、事故補償
 - 委託元としての責任を果たす体制の明記